

2018年度初年次ゼミ（木曜3限・鈴木貴之）の授業計画（4月12日現在）

テキスト：

香川知晶『命は誰のものか』ディスカヴァー・トゥエンティワン、2009年

予定：

4月26日	第1章（医療資源の配分）
5月10日	第2章（障害新生児の治療停止）
5月17日	第3章（出生前診断）
5月24日	第4章（代理出産）
5月30日	第5章（子供の臓器移植）
6月7日	第6章（安楽死）
6月14日	第8章（脳死臓器移植）
6月21日	個人発表①
6月28日	個人発表②
7月5日	個人発表③
7月12日	まとめ

授業の進め方：

学期の前半は、テキストを毎週1章ずつ講読し、その内容について議論します。毎週3人の担当者を割り当てます。担当者の仕事は以下の通りです。

担当者①：テキストの内容をA4で2ページから4ページ程度にまとめて、15分程度で報告する。

担当者②：授業の後半に小グループでテキストの内容について議論する際に、各グループの意見をまとめて、授業の最後に報告する。

担当者③：小グループでの議論で出てきた疑問点や問題点について翌週までに調査して、その内容を翌週の授業の最初に15分程度で報告する。

学期の後半は、前半に取りあげた7つの話題の中から1つを取りあげて、それについて個人発表をしてもらいます。

- ・発表の内容は、その問題についての提案。理論的に正しいというだけでなく、現実味がある提案であることも重視する。
- ・発表の時間は10分（あるいはそれ以下）
- ・発表資料はA4サイズ1ページ
- ・授業の後半30分ほどで、他の参加者と質疑応答を行う。
- ・全員の発表が終わったあと、一番よい発表に各自で投票する。

学期末には小論文を作成してもらいます。

- ・質疑応答の内容をふまえて個人発表の提案を改良し、その内容を論文にまとめる。
- ・分量は4000字以内。
- ・締切、提出方法は後日指定。

成績評価：

授業への参加、担当の内容、個人発表の内容、小論文の内容によって評価します。

注意：

- ・クラス別授業の初回（4月26日）からテキストの講読を始めます。参加者はそれまでに各自でテキストを入手して、第1章に目を通しておいてください。報告はTAにお願いする予定です。
- ・クラス別授業の初回に、前半の担当を決定します。テキストに目を通して、担当を希望する章を考えておいてください。